

## 事業計画書

補助対象事業の区分（該当する事業の□に✓を入れてください(複数選択可)）

- (1) ITツールの導入及び設備のIoT化
- (2) 非対面型ビジネスモデルへの転換
- (3) テレワーク(在宅勤務, Web会議, Web面接等)環境の整備
- (4) レイアウト変更や動線確保による業務効率化
- (5) 作業効率の向上を目的とした新システムの導入
- (6) 作業効率の大幅上昇が見込める非効率機器の更新
- (7) その他固定費の削減に資する取組として必要と認めるもの

次の各項目について、内容を記載してください。

※以下は例示ですので、実際の計画は具体的かつ詳細に記載してください。

例1) &lt;現状&gt;〇〇業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大により、△△の影響が出ている。

&lt;課題&gt;対面での営業や職員の勤務形態が制約される中、商談や資料作成をより効率化する必要がある。

&lt;取組&gt;××ソフトを導入することで、顧客に対し速やかに3D 図面化するなどした提案が可能になるほか、社員の在宅勤務が可能になる。

<効率化の効果> 提案資料作成時間 ●●時間 / 人・日から●●時間  
/ 人・日に短縮▲▲時間×■■人＝社内合計◎◎時間の作業時間短縮

例2) &lt;現状&gt;〇〇業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大により、△△の影響が出ている。

&lt;課題&gt;〇〇業を行うにあたって必要となる□□作業について、現在手作業で行っており、時間がかかるため、感染症対策や営業活動などを行う時間がとれない。

&lt;取組&gt;□□作業の効率化のため、××機器を購入し、作業を自動化する。

<効率化の効果> 作業時間 ●●時間/人・日から●●時間 / 人・日に短縮  
▲▲時間×■■人＝社内合計◎◎時間の作業時間短縮

例3) &lt;現状&gt;〇〇業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大により、△△の影響が出ている。

&lt;課題&gt;〇〇業を行うにあたって必要となる□□作業に使用する機器管理について、手書きの管理票で行っており、機器の状況把握などに時間がかかっている。

&lt;取組&gt;機器の管理のため IoT を導入し、機器の更新・点検時期確認の自動化や管理情報の共有化により、従業員の作業の効率化を図る。

<効率化の効果> 管理作業時間 ●●時間/人・日から●●時間/人・日に短縮  
▲▲時間×■■人＝社内合計◎◎時間の作業時間短縮

例4) <現状>〇〇業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大により、△△の影響が出ている。

<課題>〇〇業を行うにあたって、固定費の主要部分を占める機器として、照明や、□□機器が旧型なため、使用にあたって電気代がかかるため、省エネタイプの機器に更新することで固定費を削減したい。

<取組>固定費の主要部分を占める機器として、照明を LED 化するとともに、□□機器を省エネ型のものに更新することで、ランニングコストと照明交換費用等の固定費の削減を図る。

<固定費削減効果> 年間電気代●●円が▲▲円になり、■●円/年の削減  
取替費用◎◎円 ÷ ■●円/年 = ××年で回収

例5) <現状>〇〇業を営んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大により、△△の影響が出ている。

<課題>〇〇業を行うにあたって、必要となる□□の業務について、外注している(する予定である)が、固定費がかかっている(かかる見込みである)。

<取組>□□の業務について、××機器を購入し、自社で行うことにより固定費の削減を図る。

<固定費削減効果> 外注費(見込)●●円×▲▲回=■●円/年から、  
機器購入費●●円に削減

**【担当者連絡先】**

担当者名: 福山 花子

電話番号: 084-×××-××××

メールアドレス: \*\*\*\* \*@\*\*\*\*\*